

但馬地域の橋梁現場でクイックデッキ見学会

安全・生産性に注目

地域ゼネコン約20社参加

仮設工事業のヤマイチ(兵庫県豊岡市、山本武士社長)の呼び掛けで24日、兵庫県北部・但馬地域の主な地域ゼネコン約20社が円山川に集まり、クイックデッキ(先行床施工式フロア型システム吊り足場)を採用中の施工現場を見学した。見学したのは兵庫県が発注、谷垣組が施工する如布橋他(上ノ郷・港橋)橋梁補修工事のうち、上ノ郷橋の現場一写真。県但馬県民局豊岡農土木事務所からも参加者があった。

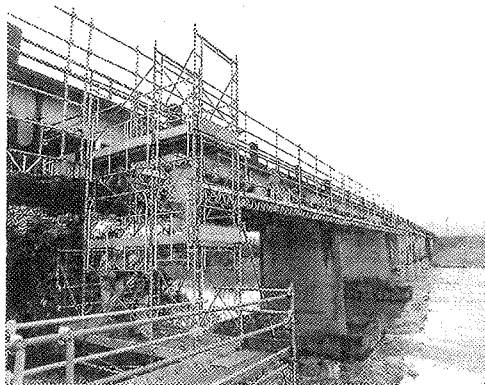


山本社長

見学会では、山本社長が「兵庫県と谷垣組の理解を得て、但馬で初めてクイックデッキを導入している。最終的にデッキの面積は約1,400平方メートルになる。安全と生産性に優れた製品なので、皆さんに実際の現場で知ってもらいたい」と約40人を前にあいさつした。参加者は特徴の説明を受けながら、職人が敏速に組み立てる作業を見守った。その後、上ノ郷橋の足場上がり、設置済みの状況を実際に確認し、



参加者を前に説明会



質疑応答があった。

日綜産業のクイックデッキは、熟練工を必要としない簡易な組み立て、先行床による不安全作業の解消、隙間・段差がない快適な作業空間、工期の短縮とトータルコスト削減などが特徴。2014年6月の発売以来、全国で85件以上の現場に採用されている。昨年5月に東北地方整備局でNETIS(新技術情報提供システム)に登録完了後、橋梁の点検・補修などの公共工事にも拡大している。

2月29日

2016年
(平成28年)

月 曜日

第18538号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

日綜産業
とヤマイチ

兵庫でクイック デッキの説明会

軽仮設機材メーカー
の日綜産業(社長・小
野大氏)と兵庫県但馬
地方の足場工事業者で
あるヤマイチ(社長・
山本武士氏)は24日、
日綜産業の先行床施工
式フロア型システム吊
り足場「クイックデッ
キ」が採用された兵庫
県豊岡市の上ノ郷橋補
修工事現場で、説明会



・施工デモンストレー
ションを開催し写真。
地元のゼネコン、県の
土木担当者など約40人
が参加した。

同社は14年6月から
クイックデッキの販売
・レンタルを開始。作
業の安全性や機能性、

施工性など従来製品を
上回る特性が認めら
れ、最近の建設技能労
働者不足もあって、当
初計画を上回る好調な
滑り出しをみせてい
る。すでに納入・稼働
中の現場は橋梁、プラ
ント、商業施設、学校
など85件、計画・引き
合い案件は100件を
突破している。

昨年5月には東北地
方整備局において国土
交通省の新技術情報シ
ステム(NETIS)
に登録が完了。これを

機に同社では、今後拡
大が期待される橋梁な
ど公共インフラのメン
テナンス需要に対応
し、市場拡大を図って
いく方針だ。